

八雲

第53号

(平成28年9月発行)



昭和40年度体育祭デコレーション
(高18・19・20期生)

大東高校校歌

- 一、勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんかな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし
- 二、夕影たかく秋深き
織部の山に風かよふ
かの夕づつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手とりていざ共に哭け
- 三、理想の洋は遥かなり
真理の道の遠ければ
あゝ、カルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす
- 四、東天高く曙の
光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん



歴史を踏まえて発展を

八雲会会長

安原重隆

卒業生の皆さんお元気ですか！全国各地にお住いの老若男女多くの皆さんを思い描いています。

さて、先般の総会で再び会長に選任されました。その器ではございませんが地元に住んでいますゆえ、また私なりに母校への恩返しをしたいとの思いもありお引受けいたしました。副会長（太田多美子・金築暎次・景山源栄）ともどもよろしく願いいたします。

○ 2年間の報告

八雲会一般会計への収入対策として平成26年度から寄付金を募ることになり、27年度も174名の皆様から548,000円が送金されて来ました。感謝を込めてご尊名を掲載します。懐かしいお名前に気づかれる方も多いかと思えます。また、百周年記念事業へのご寄付も、役員・地区委員等の努力で着々と集っており、遠方の皆様からは振込んでいただいています。これもいづれご尊名を「お知らせ」いたします。

組織を運営し事業を実施するにはお金が必要です。そのお金の工面が組織の役員にとって大仕事ですが、皆さまのご支援に御礼申し上げます。

○ 当面の課題

近年時代が変わり、松江・出雲・仁多方面から大東高校への通学生が増えていきます。これからは全国規模で希望もありますし募集もしなければなりません。昨年10月以来、大東高校野球部保護者会・同OB会、大東高校PTA、同部活動後援会、八雲会等の関係者が集まり「通学困難な圏域からの生徒の受け入れ策」についていろいろ協議し、今年2月正式に「通学を支援する会」を立ち上げ活動を進めています。

7月には雲南市長等へ要望書を提出しました。

要点は（1）寮の設置、（2）下宿等の確保、（3）市民バス・一畑バスの運行・路線の改善等への強力な推進です。

大東高校の魅力化については大東高校で努力されていますし、現に部活動・学習・礼儀等々実績を上げています。周辺の関係機関・団体もしっかり支援しなければなりません。

○ 未来への発展を

大正8年（1919イクイクと言って…）農学校が創立され、女学校、高等学校へと変遷しています。高等学校時代の入学定員（定時制・家庭科を含む）は昭和23年度から1学年150人、28年度から200人（途中多少の変更あり）に増え、さらに平成元年度から270人に増え、12年度からは160人に減り、さらに27年度からは120人に減り、入学定員が大きく変動しています。

高校の魅力化を進め通学を支援する体制を整え、幾多の先輩の努力で創立・維持され発展してきた大東高校をさらに守っていかねばなりません。百周年記念事業は発展への意識の高揚と再確認でもあります。



八雲会会員の皆様へ
ご報告とお礼
校長 今井 靖

今年はお盆までは暑く雨の少ない日が続きましたが、お盆を過ぎると朝夕が少し涼しくなり、過ごしやすくなって参りました。八雲会会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より大東高校の教育活動に対してご支援をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

大東高校の校長として2年目を迎えます。変わりませず、よろしくお願いいたします。今年度は、文武両道に加えて、地域とつながる学校づくりを進めております。また、生徒が安心・安全に学校生活を送り、自分の夢を叶えることのできる学校づくりを進めております。そのために、教職員が一体となって「チーム大東」として努力いたします。

4月には、八雲会関西支部会が、新大阪駅前において盛大に開かれました。安原会長様とともに出席させていただきました。その折に、6期のご卒業の芦田裕昭先生にお目にかかることができました。平成30年に百周年を迎えるにあたって、記念となる絵画をどなたかをお願いできたらと思っておりました。その席で、芦田先生にその旨を伝えましたところ快くお受けいただき、この度「葦角」という画題の絵を寄贈いただきました。7月の八雲会総会で同窓生の皆様に披露するとともに、1学期の終業式で生徒に披露し、本校の玄関に飾らせていただいております。卒業生の皆様がご来校の折には、玄関入って右に飾っておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

さて、例年のとおり、まずは高校野球のご報告をしなければいけません。昨年は、準優勝で、あと一步甲子園に届きませんでした。今年は、捲土重来を期して嶽野監督を中心に選手が一生懸命戦いました。勝ち負けは、様々な要素が重なって決まると思います。今年は、立正大湊南高校にホームランで2点先行はしましたが、逆転され2対3で敗れ、ベスト8に終わりました。今年も、保護者の皆様、卒業生の皆様、地域の皆様など多数の方に応援をいただきました。大東高校の試合は、いつもスタンドが応援の皆様で埋まります。いろいろな方に応援をしていただいていることを、ありがたく感じております。1、2年生が3年生の思いを受け継ぎ、来年春の選抜に向けてスタートをしております。今後とも、大東高校野球部に注目をしていただければと思っております。野球部も頑張っていますが、部活動ではいろいろな部が活躍をしています。6月に行われました高校総体で、男子がBグループで3位、女子はAグループで10位となり、男女総合では第2位という良い結果をあげることができました。女子の空手道は優勝して、インターハイ出場を果たしました。剣道男子、空手道男子、バレーボール男子、ソフトボール、バドミントン女子をはじめ各々が一生懸命頑張った結果であると思っております。文化部も、いろいろな大会に参加したり出品をしたりしていますが、今年は特に地域とのつながりということで、地域の様々なイベントなどに積極的に参加し、地域の皆様に大東高校の文化部の活動を理解いただいております。

学習の面でもしっかりと成果を上げております。この春の卒業生は119名おりましたが、国公立大学合格者25名、就職者15名、私立大学や短大、専門学校への進学者80名という状況でした。現役生は島根大学を中心に中国地方の大学への進学だけでなく、今年は久々に早稲田大学への合格がありました。また、卒業生が1年頑張っ京都大学や島根大学医学部をはじめ、自分の目指した進路の達成をしています。就職者は、県内就職がほとんどです。生徒数が減少し、3年生が4クラスで114名、2年生は3クラスで101名、1年生も3クラスで113名という状況ですが、学習にも、部活動にも大東高校生は一生懸命頑張っております。

最後になりましたが、平成30年に創立百周年を迎えるにあたって、昨年9月よりいよいよ記念事業実行委員会を中心に活動を始めていただいております。「校史」の編纂は、青木愛治先生のご尽力で着実に進んでおります。また、事業を行う基盤として寄付を各支部や県外の皆様をお願いしておりますが、こちらも順調に進めていただいております。他校の記念事業から見ますと、記念事業実行委員会の立ち上げからこれまでの活動は、非常にスムーズにしかも早く進んでおります。これもひとえに同窓生の皆様が、大東高校を思っいただいているおかげだと感謝いたしております。高校側としましては、その期待に応えるべく、これまで以上に地域とつながる学校として、優れた人材の育成に努めていきたいと考えております。今後とも、大東高校の教育活動にご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度 八雲会総会

平成28年度の八雲会総会を7月9日（土）に、45名出席のもと、今年度は海潮温泉桂荘の大集会室において開催しました。茶道部によるお手前と吹奏楽部による演奏が今年も披露されました。総会では、会長、校長、部活動後援会会長（藤原淳氏・高16期）挨拶のあと議事に入り、平成27年度事業報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算書等について報告がありました。百周年記念事業については、百周年寄贈絵画、寄付の状況等の説明があり、引き続き協力体制をとることを確認し、懇親会となりました。

総会は毎年7月の第2土曜日に開催することになっています。来年度さらに多くの方に出席していただけることを願っています。



関西支部会

関西支部事務局 高橋 潮（高10期）

今年の関西支部総会は、28年度早々の4月23日、新大阪駅前のニューオオサカホテルで開催。本部から安原会長（11期）・今井校長・藤原100周年記念事業委員会副委員長（16期）をお迎えして行った。支部会員160名に案内をし、多くの出席を期待していたが、返って来るハガキは、欠席ばかりで開催も危ぶまれたほど。最終的には、前回より1名減の31名の会員が集まりホッとした。出席者の年齢構成は、80代10名、70代16名、60代4名、40代1名で、平均年齢は74才。第3期卒で御年83才の5人の方々の出席には驚いた。卒業後65年も経

過しているのに、澁刺と元気で、とてもそんな歳には思えない。「同期の集いも兼ねて楽しみにして出掛けました」と仰っているように、固い絆で結ばれていることを痛感。一方で「一緒に参加する人がいないので今回も欠席します」という返事もあり、欠席者の大半の声を代弁していると思われた。同期の仲間がお互いに誘い合い、同期の集いも兼ねて楽しむと言う軽い気持ちで参加されればよし、その音頭取りを率先する人がおられれば、なおよしと思っている。

さて、本番では、広木支部長(16期)の挨拶で始



まった。大東下分出身の上代タノさんの話題。NHK朝ドラ「あさが来た」のモデル広岡浅子さんが設立に導いた日本女子大学との深い関係を解説。設立間もない明治38年にこの大学に入学。卒業後、同大学で英語教師、英文学部教授、理事、学長に就任等々、郷土の偉大な先輩の活躍に触れての挨拶であった。

続いて、安原会長・藤原副委員長の挨拶があり、100周年の寄付状況の説明と協力要請があった。母校の現状については、今井校長先生から「生徒の進路状況」や「活発な部活動」について報告があった。（詳細割愛）

懇親会は、中村淳さん（22期）の差入れ、松江の銘酒「李白」で乾杯。円卓料理を囲みながらし

ばし歓談。例年、宴会のトップは校歌斉唱、今回も江草まゆみさん（3期）の音頭と美声で始まった。応援歌・壮行歌・「ふるさと」を合唱し、これが引金となって懐かしい歌が続々登場。本部の藤原さん（16期）からは「星影のワルツ」、舟木一夫ならぬ船木豪さん（16期）は「高校3年生」など。歌ではないが「オールマンイッチョウ」と地元でずっと応援を続けている会長の安原さん（11期）が登壇、手振り身振りよろしく勇ましさを披露。この合間に、全員から自己紹介を兼ね近況報告をしてもらい親近感を深めた。最後は、自衛隊に勤務の瀧都さん（45期）、あたかも熊本地震で多忙の中、参加されたが、一番若い彼女の音頭で万歳三唱をして幕を閉じた。

広島支部会

広島支部事務局長 佐藤 眞（高17期）

八雲会広島支部は、平成28年度総会を7月16日（土）、八雲会本部から太田多美子副会長、赤山事務局長（大東高等学校教頭先生）を、お迎えし広島市南区のホテルニューヒロデンに於いて開催しました。

当日は広島市及びその近郊から会員19名が出席し渡部剛幹事の司会で総会は始まり、佐藤眞支部長から開会にあたり、「皆様大変お忙しいところ、元氣でご出席頂き嬉しく思うと同時に感謝申し上げます。出席者の方を拝見しますと、昨年都合の悪かった方も元氣で出席頂き再会できたこと、そして初参加として高31期の大重志乃婦様に出席頂いたことは大変喜ばしい状況にある。最近はこのように若い方とも連絡が取れるようになってきており支部活性化への芽が出始めている。この芽を育てるべく幹事会中心に頑張るので会員の皆様には一層の協力ご支援頂くようお願い申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて5年振りに来広頂いた太田副会長、安来高校から赴任された赤山事務局長にそれぞれご挨拶頂き、百周年記念事業進捗状況、寄付の状況、学校の近況、部活活動、特に野球部の今年こそ甲子園という思いで戦っている様子、また百周年記念の一環として島根県立大東高等学校と平成30年度創立100周年のマスコットを表記したオフィシャルドリンクが全国の自動販売機で発売されることになったこと、そして本校の生徒は礼儀深くどこにいてもきちっと挨拶が出来、地域の皆様から大変愛されている学校です。との近況報告を頂きました。



続いて議事に入り支部の決算報告が満場一致で承認され、今後支部の運営を携わっていく幹事会メンバーが紹介されました。

毎年元氣で出席頂いている高6期富久顧問の乾杯音頭で懇親会に入り、久しぶりの出会いで賑かに会話が進み、お互いの近況を確かめました。

校歌、応援歌、壮行歌が歌われるなか、瞬く間に時間は過ぎ、司会者の二次会の案内で、高17期の飯浜利さんが、「来年は皆さんの協力で、この会の出席者をもっと増やしましょう。若い方そして女性参加を増やしましょう。そして必ずお会いしましょう」と再会を約束し力強く中締めしました。二次会は会場の都合で引き続き嵯峨の間で行い、メインテーブルのゲストの方を囲み、広島銘酒「加茂泉」で再度乾杯し、カラオケや懐かしい故郷の歌をうたいそして若かりし頃を語り合い、

賑やかで和やかな雰囲気の中で支部総会が終わりました。

来年も盛会に開催することを約束し散会しましたが、広島支部も会員の高齢化という問題に直面しています。会員も平成28年現在186名登録されていますが、平成15年（高55期）を最後にこの13

年間新規会員の登録はありません。この空白を少しでも埋め会員数を増やし活性化させることが急務です。このため皆様の親戚、先輩、後輩、同窓会等から会員を発掘し紹介して下さい。会員数拡大のため皆様の一層の協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。



事務局 加藤文則記 (高5期)



高校第5期卒業生同窓会、愛称「おりべ5期の会」（代表・蓮岡法暉）の2016年を6月20日～21日、会員24名が参加して松江市・ホテル一畑で開催しました。

冒頭の物故者への黙禱に際しては、この1年に3名もの学友を冥界へ送りましたので、感慨一入なものでありました。

会の配布資料として真下孝君（神戸市）の「昭和20年代の世界」。余暇活動の実際を纏めた山崎克美さん（川西市）の「へたの横好きの記（水彩同好会とコーラス活動）」と山本あさかさん（広島市）の「私の老後の楽しみ方（長年にわたるゲーム・ドラゴンクエストへの挑戦と油彩活動）」の寄稿文をお配りし、皆さんに喜ばれました。

今年の会員スピーチは狩野彰彦君（広島市）の母校の校歌の一節「夕づつ」に纏わる雑感。枕草子から平安文学、もののあわれへと続く格調高いスピーチとなりました。

開会の乾杯は松本堅君（さいたま市）と永瀬哲雄君（大阪市）。続く余興・カラオケの部では、出演者の美声に、入江早苗さん（松江市）の即興的創作舞踊？とでもいうべきバックダンス？が花を添えて、大いに盛り上がりました。



閉会の乾杯は山崎克美さんと山本あさかさん。続いて入江早苗さん、荻野晶子さん（松江市）の指揮による恒例の校歌斉唱と「星影のワルツ」の大合唱で会を締めました。

閉会後は、会場を移しての二次会兼懇談会。ここでも話題は尽きず、夜遅くまで笑い声の絶えることはありませんでした。

なお、この会には闘病中の岩田寛君（雲南市）から、24束（1束5本）もの郷土の美味「ささまき」の差し入れがありました。これは奥さんのご理解とご協力あつてのこと。一同、ありがたく賞味させていただきました。

随筆

私の老後の楽しみ方

山本 あさか
(高5期 旧姓堀江)

「老後」という言葉は好きではないけど、確かに限られた時間しか残されていないのだから、出来るだけストレスをためないで、楽しく生きたいと思う。社会のために役だつてはいないが、少なくとも社会に迷惑をかけずに、自立して生きたいと思う。

私が今一番はまっているのが“ドラゴンクエスト”（略してドラクエ）というゲームの世界。世界を征服しようと企む悪と戦う壮大な(?)ファンタジーだ。

何が壮大か。一つは空間的な広がり。

日本中に、ドラクエの愛好者は何十万人人と思うが、その中の誰とでもフレンドになり、チームを作ることが出来る。一人では倒せないモンスターも、チームの仲間と協力すれば、倒すことができるのだ。

私の登録しているフレンドは40人。属しているチームは20人と少ないが、殆どが社会人で、ゲームにログインするのは夜の9時ごろから12時ごろまで。ワイワイガヤガヤ戦略を練り、時には日常会話や世間話を楽しんだりして、つい遅くまで過ごしてしまう。薬を飲むのを忘れてたり、血糖値を測るのを忘れてたり……。

ドラクエは、モンスターと戦うばかりの殺伐とした世界ではなく、「住宅村」には自宅があり、インテリアやガーデニング、カジノではルーレットやビンゴ、美容室では髪型やカラーリング、ドレスアップ室ではお好みのおしゃれの楽しみ等々、それぞれの好みに応じた楽しい時間が過ごせる世界でもあるのだ。

もう一つの壮大さは、時間的な長さ。

物語が完結するのに10年と云われている。私が始めてからすでに4年近くなるが、この調子でいつまで続けられるのか?若さ(?)を装ってはいるものの、進歩し続けるこの世界で生きて行くのは、楽しいけれど結構ハードでもある。

真面目な趣味としては、油絵を描くこと。いつ頃から始めたのか、記憶が定かではないが、「60の手習い」として始めたものなので、もう20年以上にもなってしまった。ただし、あくまでも趣味の域を出ないから少しも上達しないが、キャンバスに向かっている間は、無心でいられるのが嬉しい。

絵画教室の展覧会への出品が励みになっているが、週1回、月3回、教室で一緒に描いている人たちも同世代で、気心の知れた仲間でもあり、食事をしたり、お茶をしたり、おしゃべりをしたりと、こちらはバーチャル(仮想現実)の世界とは異なる、現実の世界の楽しみです。

皆様の老後の過ごし方、教えてください。



新会員紹介

石原 夕真子 (高68期)

私は、春に大東高校を卒業し、今は地元の製造工場で働いています。主な仕事内容としては、マツダ車のシートを作ることです。二週間の広島での研修を経て、今ようやく仕事に慣れてきました。職場ではミスをしてしまう事もありますが、ミスしたことを反省し次に生かせるように毎日努力しています。

この何事にもひたむきに取り組む姿勢は大東高校での三年間の生活にあると思います。目標を立て、その目標に向かって努力したこと、出来ないことを出来るようになるまで練習したこと、仲間と協力して物事をやっていく事の楽しさ、難しさなど、働くようになってからでも大切なことをたくさん学びました。

仕事をしていると、ふと高校生の時を思い出します。やはり一番の思い出は部活動で、インターハイ出場を目標にして、毎日ひたすら練習したことや、加多神社の階段を50往復したこと、怒られたこと、悔しい思いをしたことなど、今考えるとほんとうに充実していたと思います。

大東高校は平成30年度に創立100周年です。歴史ある高校の卒業生であることを誇りに思い、これからも後輩たちを応援したいと思います。



勤務中の石原さん

田部 憲司 (高68期)

ついこの前まで桜が“舞っている”なあと思いながら始まり、今はもう夏休みが“待っている”なあと思いついて過ごしている大学生活です。私は大学で法律や経済を学んでいますが、それだけでなく、学外（地域社会など）に出て勉強したり、活動したりもしています。

その1つに、「ポリレンジャー」での取り組みがあります。「ポリレンジャー」とはポリティクス（政治）とレンジャーを掛け合わせたもので、若い人にも選挙に行ってもらおうということを目的に色々な活動をしています。先月行われた参院選の前には、高校に出かけてワークショップや模擬投票をしたり、選挙に関する情報を集めたサイトの作成などを行いました。活動を通して選挙の仕組みだったり、また企画の進め方だったり、新たなことをたくさん学んでいます。他にも、敢えて毎日テントで暮らす同級生や各国からの留学生との出会い、カヌー、ボルタリングといった経験など、未知の出会いと経験を日々して、とても刺激的です。

先日、友人と大東高校野球部の試合を観に行くことがありました。彼は、大東高校のスタンドが地域の方で埋め尽くされていることに、とても驚いていました。地域からすごく愛されている学校なんだなと言っていました。確かに、高校時代には地域の方や卒業生の方々に色々支えてもらったなと改めて思いました。

自分も後輩たちを支えられるように、これからも更に頑張っていきたいと思います。



高校で説明をしている田部君

八雲会

平成27年度事業報告・平成28年度事業計画

平成27年度 事業報告	
平成27年	
4月27日(月)	第1回校内幹事会 (役割分担)
5月11日(月)	第2回校内幹事会 (会長・副会長出席) (事業報告・計画、決算、予算、役員会)
5月15日(金)	監査会 (H26年度決算)
5月15日(金)	役員会 (決算、予算、事業、総会)
6月 2日(火)	大東支部会(成相)
6月20日(土)	関東支部会 (景山副会長・藤原百周年副委員長・ 飯塚教頭)
7月 2日(木)	第3回校内幹事会(総会)
7月11日(土)	八雲会総会
7月18日(土)	広島支部会 (会長・藤原百周年副委員長・校長)
7月25日(土)	佐世支部会 (会長、森山)
7月30日(木)	阿用支部会 (加藤)
9月	会報「八雲」第52号発刊
11月 1日(日)	松江支部会 (会長、校長)
11月21日(土)	春殖支部会 (成相)
12月10日(木)	海潮支部会 (藤原百周年副委員長・加藤)
平成28年	
2月11日(木)	幡屋支部会 (会長、飯塚教頭)
2月22日(月)	第4回校内幹事会(入会式)
2月26日(金)	加茂支部会 (会長、森山)
3月 1日(火)	第68期八雲会入会式
3月21日(月)	久野支部会

平成28年度 事業計画	
平成28年	
4月23日(土)	関西支部会 (会長・藤原百周年副委員長・校長)
5月 2日(月)	第1回校内幹事会 (役割分担)
5月12日(木)	監査会 (H27年度決算)
5月20日(金)	役員会 (決算、予算、事業、総会)
6月15日(水)	大東支部会 (成相)
7月 4日(月)	第2回校内幹事会(総会)
7月 9日(土)	八雲会総会
7月16日(土)	広島支部会 (太田副会長、赤山教頭)
7月17日(日)	塩田支部会
8月10日(水)	阿用支部会 (恩田)
9月	会報「八雲」第53号発刊
10月22日(土)	関東支部会
月 日()	松江支部会
月 日()	春殖支部会
月 日()	幡屋支部会
月 日()	佐世支部会
月 日()	海潮支部会
月 日()	久野支部会
月 日()	加茂支部会
月 日()	宍道支部会
月 日()	木次支部会
平成29年	
2月20日(月)	第3回校内幹事会(入会式)
3月 1日(水)	第69期八雲会入会式

平成27年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	1,023,000	1,011,690	▲ 11,310	年額3,000円
繰越金	1,069,036	1,069,036	0	前年度繰越金
寄付金	500,000	548,000	48,000	
雑収入	964	273	▲ 691	預金利息等
合計	2,593,000	2,628,999	35,999	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	770,000	407,550	▲ 362,450	
会議費	280,000	145,072	▲ 134,928	役員会、総会費
旅費	300,000	117,558	▲ 182,442	支部会出席旅費(関東、広島、松江)
通信費	40,000	30,250	▲ 9,750	郵券代等
事務費	10,000	7,102	▲ 2,898	振替払込書印字代
管理費	140,000	107,568	▲ 32,432	会員登録、データ管理
事業費	1,193,000	1,067,596	▲ 125,404	
八雲発行費	550,000	599,516	49,516	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	430,000	▲ 170,000	関東、広島、松江、加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮各支部
入会式	43,000	38,080	▲ 4,920	入会記念品(証書入れ筒)
雑費	40,000	38,880	▲ 1,120	慶弔費等
予備費	590,000	0	▲ 590,000	
合計	2,593,000	1,514,026	▲ 1,078,974	

(収入総額) 2,628,999円
 (支出総額) 1,514,026円
 (差引残額) 1,114,973円・・・平成28年度へ繰越

特別会計(積立)決算書

平成26年度末残高 539,469円
 平成27年度利息 88円
 平成27年度末残高 539,557円

平成28年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	981,000	1,023,000	▲ 42,000	年額3,000円×327名=981,000
繰越金	1,114,973	1,069,036	45,937	前年度繰越金
寄付金	500,000	500,000	0	寄付金
雑収入	27	964	▲ 937	預金利息
合計	2,596,000	2,593,000	3,000	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	770,000	770,000	0	
会議費	280,000	280,000	0	役員会、総会費
旅費	300,000	300,000	0	支部会出席等旅費
通信費	40,000	40,000	0	郵券
事務費	10,000	10,000	0	事務用品、振替払込書印字代等
管理費	140,000	140,000	0	会員登録、データ管理等
事業費	1,250,000	1,193,000	57,000	
八雲発行費	600,000	550,000	50,000	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	600,000	0	関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入会式	50,000	43,000	7,000	入会記念品
雑費	50,000	40,000	10,000	慶弔費等
予備費	526,000	590,000	▲ 64,000	
合計	2,596,000	2,593,000	3,000	

特別会計(積立)決算書

平成27年度末残高 539,557円
 平成28年度利息 43円
 平成28年度末残高見込額 539,600円

平成28年度～29年度 八雲会役員一覽

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上朋良	高3	副会長	太田多美子	高13	監事	増田敏男	高10
	角谷雄輔	高7		金築暎次	高14		狩野健吉	高18
	景山純孝	高9		景山源榮	高15		石川辰子	高23
会長	安原重隆	高11		今井靖	校長			

【理事】

支部	氏名	期	支部	氏名	期	支部	氏名	期	
大東	蘆田道昭	高16	阿用	矢壁正弘	高28	木次	佐藤弘之	高23	
	森脇誠夫	高10		安部万里子	高28	穴道	渡部清美	高27	
	光谷由紀子	高18	久野	堀江善彦	高23	松江	細木勝美	高18	
	青木愛治	高18		上代英治	高29		八幡憲次	高19	
	春殖	糸川栄一	高19	海潮	新田昭隆	高15	広島	佐藤眞	高17
		安部幸治	高24		木村昭憲	高17		富久禮識	高6
横山美昭		高20	宮川稔	高27	関西	佐藤和紀	高12		
木村晋吾	高27	塩田	新田国善	高27		関東	広木益夫	高16	
幡屋	森山武史		高25	金築暎次	高14		持田啓司	鏝木茂雄	高32
	山崎英志		高29	岸本邦夫	高19	持田啓司		高32	
佐世	錦織涿郎		高14	斉藤雅孝	高28				
	錦織一夫		高17	畑宏明	高29				
阿用	永瀬康典		高18	加納忠夫	高31				
	陶山隆之	高17	高橋雄二	高32					

【代議員】

支部	氏名	期	支部	氏名	期	支部	氏名	期			
大東	狩野泰秀	高20	久野	長妻賢二	高32	関西	高橋潮	高10			
	小山益男	高20		三澤郁穂	高35	関東	佐藤博芳	高32			
	狩野恵子	高24	海潮	岩田和義	高19	【八雲会支部長】 大東支部 蘆田道昭 春殖支部 横山美昭 幡屋支部 森山武史 佐世支部 錦織涿郎 阿用支部 永瀬康典 久野支部 堀江善彦 海潮支部 新田昭隆 塩田支部 新田国善 加茂支部 金築暎次 木次支部 佐藤弘之 穴道支部 渡部清美 松江支部 細木勝美 広島支部 佐藤眞 関西支部 広木益夫 関東支部 鏝木茂雄					
	山本司	高32		福間廣明	高20						
春殖	糸原優二	高33		佐々木徹	高23						
幡屋	田中久志	高33	山根和幸	高25							
	郷原辰雄	高22	塩田	安達隆亜	高42						
	舟木忠夫	高24	加茂	竹村治美	高17						
武田良伸	高32	錦織直行		高19							
佐世	田中互	高37	吉岡敏隆	高27							
	安部博	高18	木次								
阿用	高橋敬二	高22	穴道	佐藤和彦	高32						
	木色薫	高20	松江	岩橋弘政	高18						
	森山肇	高24		勝部修	高19						
	安井修	高25	広島	渡部剛	高16						
				三島曉子	高17						

大東高等学校事務局

TEL(0854)43-2511 FAX(0854)43-2512

事務局長 赤山 克司 (教頭)	幹事長 森山 智 高32	幹事 成相 智志 高33	幹事 小山美紀子
幹事 天野 昌範 (事務長)	幹事 恩田 守 高32	幹事 加藤 宏明 高57	

よろしくお願ひします。

「八雲会」へのご寄付のお礼

「八雲会」へ、卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面を借りまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。以下の寄付状況は、平成27年10月29日より平成28年8月16日までのものです。

1. 寄付状況

◇総額：563,000円

◇振込人数：180人（1人で2回のご寄付の場合は2名としております）

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道	2	東京	11	神奈川	4	千葉	6
茨城	1	埼玉	5	愛知	5	岐阜	2
滋賀	2	大阪	18	京都	4	奈良	6
兵庫	9	鳥取	2	島根	82	岡山	3
広島	13	山口	2	徳島	1	佐賀	1
大分	1	（計180人）					

◇口別寄付状況（人）（連名での寄付の場合は1名としております）1口1,000円

20口	2	10口	10	7口	1	5口	26
3口	57	2口	34	1口	47	（計177人）	

振込方法 <八雲会への寄付>

払込取扱票左上の加入者名が「八雲会」となっているものをお使いください。
（百周年記念寄付金の用紙とお間違えにならないように）

◆寄付金額：一口1,000円（一口以上）

専用振込用紙を年に一度お送りしている会誌『八雲』と一緒にお届けします。
一口1,000円から受け付けさせていただきます。

◆振込先：ゆうちょ銀行（振込手数料はかかりません）

口座記号番号 01390-5-103127

口座名称 八雲会

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名（店番） 一三九（イチサンキュウ）店（139）

預金種目 当座

口座番号 0103127

◆その他

- ・卒業生のお名前で（ご家族の方等が振り込まれる場合も）お振り込みください。
- ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
- ・振込期限はありません。（随時受付をしています）

「百周年記念事業」へのご寄付現況報告

「百周年記念事業」へ、卒業生の皆様をはじめ多数の方より寄付を頂戴しています。この紙面を借りまして、心より御礼申し上げます。振込期間（第1期）を平成28年9月末日としております。皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。以下の寄付状況は、平成28年8月16日までのものです。寄付者のご芳名は追ってお知らせします。

寄付状況 (1,713万円)

◇八雲会より（特別会計） …… 570万円

◇集金によるもの（大東町、加茂町の八雲会各支部） …… 729万円（計1,588件）

・支部別 大東支部 280万円(658件) 阿用支部 117万円(257件) 春殖支部 138万円(262件)
久野支部 23万円(73件) 佐世支部 144万円(298件) 海潮支部 27万円(40件)
(万円未満は示しておりません)

◇振込によるもの …… 299万円（計332人）

◎都道府県別寄付状況（人）（卒業生のみ）

北海道	2	福島	1	東京	14	神奈川	6	茨城	2	埼玉	4
千葉	6	愛知	9	岐阜	1	新潟	2	石川	1	三重	1
滋賀	5	大阪	44	京都	10	奈良	11	和歌山	1	兵庫	12
鳥取	6	島根	134	岡山	7	広島	28	山口	3	徳島	1
佐賀	1	大分	1								

・上記島根（134）分の内訳（人）

安来市	2	松江市	61	出雲市	22	大東町	14	木次町	21	三刀屋町	7
奥出雲町	4	大田市	1	江津市	1	浜田市	1				

（計134人）

◎金額別寄付状況（人）（連名での寄付の場合は1名としております）

10万円 ……	2	5万円 ……	5
3万円以上～5万円未満 ……	26	2万円以上～3万円未満 ……	8
1万円以上～2万円未満 ……	78	1万円未満 ……	213

（計332人）

◇現金直接払いによるもの …… 5万円（計4件）

◇PTA支援金、現教職員によるもの …… 110万円

百周年記念誌 原稿のお願い

このたび、百周年記念誌に会員の皆様からひろく原稿を募集することといたしました。

内容は大東高校在学中の思い出で、400～800字程度と考えております。皆様のご協力をお願いいたします。

◇締め切り：平成29年3月31日

◇問い合わせ先・送り先：本誌16ページ下の八雲会事務局まで

◆百周年記念事業寄贈絵画

高6期の芦田裕昭様（京都府在住）より絵画の寄贈がありました。平成22年から平成28年まで総理官邸に飾られていたものです。画題は「葦角」で、葦角とは早春に水辺に生い出た葦の新芽または若い葦のことです。葦角を生徒に重ね合わせ、大東高校で学ぶ生徒の成長を祈りたいと思います。芦田先生、貴重な絵を寄贈していただき本当にありがとうございました。



◆百周年記念事業購入バス

百周年記念事業会計より240万円、PTA会計より111万円拠出してマイクロバスを購入しました。部活動の大会・遠征の際や、各種行事での送迎、など様々な機会に利用させていただいております。



振込方法 <百周年記念事業への寄付>

◆寄付金額：個人 3,000円以上（できるだけ多くのご芳志をお願いいたします）

専用振込用紙（昨年度同封しましたものをお使いください。郵便局にあるものも使えます。）

注意事項 払込取扱票左上の加入者名が「島根県立～記念事業実」となっているものをお使いください。（八雲会の用紙とお間違いにならないように）

◆振込先：ゆうちょ銀行（振込手数料はかかりません）

口座記号番号 01350-2-104189

口座名称 島根県立大東高等学校創立百周年記念事業実

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名（店番） 一三九（イチサンキュウ）店（139）

預金種目 当座

口座番号 0104189

◆その他

- ・卒業生のお名前で（ご家族の方等が振り込まれる場合も）お振り込みください。
- ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。

佐々木 正 夫さん (高7期卒)

『瑞宝中綬章』 おめでとうございます

平成28年4月29日に春の叙勲を
受けられました。



【経歴】

- 昭和11年 雲南市大東町須賀生まれ
- 昭和30年 大東高等学校卒業（高7期）
- 昭和34年 島根大学教育学部卒業
- 昭和39年 北海道大学大学院理学研究科博士課程修了
- 昭和39年 米国カリフォルニア大学医科学センター研究員
- 昭和41年 東京医科歯科大学難治疾患研究所助教授
- 昭和53年 京都大学放射線生物研究センター教授、平成5年より同所長（4年間）
- 平成5年 日本学術会議研連委員（10年間）
- 平成7年 国際放射線学会（評議員・副会長・会長、各4年間）
- 平成8年 日本放射線影響学会会長（4年間）
- 平成12年 京都大学退職（京都大学名誉教授）
- 平成13年 原子力安全研究協会理事（4年間）
- 平成14年 国連科学委員会日本政府代表代理（6年間）

その他、総理府科学技術会議、内閣府原子力安全委員会、文部科学省学術審議会などの専門委員をつとめ、現在では、独立行政法人医薬基盤研究所及び独立行政法人日本学術振興会におけるプログラムオフィサー及び学術顧問に携わっていらっしゃいます。

編集 後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。
今年の西日本は特に暑さが厳しいように思いますが、皆様の地域はいかがでしょう。子どもの頃はもう少し朝晩が過ごしやすかったように思い出されます。健康に留意されお過ごしください。

大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512
E-mail:daito-hs@edu.pref.shimane.jp
ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp/>
☆☆大東高校公式Face bookもご覧ください☆☆